（学校運営協議会・報告様式）

令和６年度　第５回　鈴西小学校　学校運営協議会　実施報告書

１　日　時　　令和６年１２月２３日（火）１０：００～１１：３０

２　場　所　　鈴西小学校 多目的ホール

３　委員長挨拶

厳しい暑さが続いた後、秋が短く、急に寒くなった。西に向かって鈴西小に来ると、鈴鹿山脈が見える。鈴西小の校歌に「♪西のお空にしっかりと鈴鹿の山があるように～」とあるが、私にとって子どもの頃からずっと西の山にいつも見守られながら生活してきた。山頂付近に雪が積もっていて、とてもきれい。自然に囲まれた鈴西小学校はとても素敵だと思う（管理は大変で管理職は頭を悩ませるが）。今日は２学期最後の学校運営協議会、よろしくお願いします。

４　学校長挨拶

本日は、年末に差し掛かるお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。酷暑の中スタートした２学期だったが、すっかりと寒くなり先週は雪もちらついた。改めて振り返ると長い時間が過ぎたと感じる。

２学期の間、運動会に始まり社会見学や修学旅行など大きな行事がたくさん実施されたが、大きな事故なく終えることができた。また、今年限りとなるが陸上競技会を行ったり、森のまつりを平日に行ったりするといった、これまでにない形での行事も実施させていただいた。これらの行事について、前例のない状況で進めたこともあり、いろいろと不備もあったが、職員のがんばりや保護者や地域の皆様のご協力により大過なく進められ、子どもたちの成長につながったのではないかと思っている。ありがとうございました。

今回は学校保健委員会も兼ねての会ということで、子どもたちの体の発育や健康状況等について養護教諭からの報告がある。子どもたちの体の状況について知っていただくとともに、課題の解決に向けたご意見等いただけると大変ありがたい。

また、アンケート結果の説明や学校関係者評価など今年度のまとめに向けたお知らせやお願いもあるので確認いただき、協力をお願いしたい。

５　協議事項

（１）学校保健委員会［養護教諭が資料にそって説明］

《委員の皆様から》

〇鈴西小学校のインフルエンザの状況は？

→今日は罹患者０。先週は２名いた。今シーズンの罹患者は少ない。中学校区では１１月の終わりから急に増えて、学級閉鎖になる学校もあった。

〇各種健診結果から課題を見つけて指導に生かせているのがよい。虫歯の子が多いようだが、原因は何か。

→はっきりとは特定できないが、保護者の意識は二極化している。よく気にかけてもらえている家庭（定期的な歯科受診、フッ素をぬってもらう等）もあれば、一人でたくさんの虫歯がある児童もいる。

〇虫歯はほかのいろいろな病気にもつながっていくので、家の協力が大事。

○学校の役割として、勉強も大切だが、体づくりも大切。
○子どもたちの遊び方、家庭での運動や体の動かし方も大切になってくる。
○子どもたちの外遊びの状況はどうか。
→むしろ、他校と比べると外遊びをよくしている。健康な体づくりのために運動・外遊びが必要といわれながらも、学力向上のために読書も推進していかなければならない。こういったことのバランスをとるのが難しい。
→昨今、転んだときに手をつくことができず、顔から地面についてしまい、大けがをするような子が多いといわれているが、鈴西小ではそういう子は少ない。大けがに至らずに済んでいるのは、校区が広く、長距離を毎日歩いて足腰が鍛えられているかではないかと思う。
○校区が広いことは、下校で一人になってしまうとか、時間がかかりすぎる等の短所もあるが、体づくりの観点から考えると長所であるともいえる。

6　情報交換・その他

○学校評価アンケート（二学期）集計結果について
　グラフから読み取れる考察について、教頭より説明
○学校関係者評価の依頼について
　１月中旬に成果・課題まで入力したものを配付する。
　学校関係者評価を１月２７日までで依頼。
○ＣＳアンケートのお願い
○次世代の家庭・学校・地域創生フォーラムについて

7　教育委員会より（鈴鹿市教育委員会事務局教育支援課 加藤稔明先生）

○鈴西小学校は各学年単学級で、人数が少ない。集計結果で「％」にしてしまうと、１人の子どものもつ割合が大きく、分かりにくくなってしまうが、この資料は、人数で書かれているので、とても分かりやすい。
○視力の資料を見ると、４年生の視力が低い。日々クロムブックを使うが、姿勢が大切。教育委員会はクロムブック使用を推進している。バランスをとるのが難しいが、授業中にクロムブックを使った後、休み時間は外へ出て遊んだり、遠くを見るようにしたりする等、日常的なケアが必要。
○学校関係者評価について。みなさんに分かってもらえるよう書き方を工夫してきている。言葉に注釈もつけてある。それでも分からない言葉があった場合は学校に問い合わせていただき、意味が分かった上で学校関係者評価をご記入いただきたい。
○学校関係者評価は、委員のみなさん一人ひとりの意見がとても大切になってくる。地域の方の意見を受け止め、どのように改善していくべきか、学校で検討が行われる。本日配付のアンケート結果や、授業参観していただいた際の子どもたちの様子と合わせて、評価していただきたい。
○コミュニティースクールの意識調査について。今年で１３年目になり、アンケートの質問項目を変更した。教育振興基本計画が変わったので、それに合わせて変更している。表面は学校運営協議会の状況を６つの観点で、裏面はどうやって地域ぐるみで子どもたちを育てたらよいのかという観点で作成している。
○県の「次世代の家庭・学校・地域創生フォーラム」について。オンライン参加も可能になっているので、会場（津）まで行くのが大変であれば、オンライン参加も検討いただけるとありがたい。ぜひ参加していただき、鈴西小の教育に還流していただきたい。

《委員の皆様から》

〇コミュニティースクールとは何か。

→学校運営協議会を設置し、家庭・学校・地域が連携して子どもを育てていこうとする学校をコミュニティースクールと呼んでいる。

〇コミュニティースクールとして、よりよい学校をつくっていく上で、学校運営協議会は大切であると思う。この場をもっと意見を出し合える会議にしていきたい。学校からの報告を聞いているだけでは残念。

〇地域の代表として、学校運営協議会に参加している。地域の課題もこの場で出していくことで、学校には地域での課題を知ってもらうことができる。

〇ある学校の運営協議会では、児童会からの報告（課題に対して自分たちでどのように取り組んでいるのか）があると聞いた。そういうのを取り入れてはどうか。児童会のほかにも、子どもたちの活動についていろいろな情報を聞かせてもらえると嬉しい。

〇自由に意見を交流できる時間を設定したい。話しやすい場の設定、進行をしていきたい。

→ある学校の運営協議会では、学校からの報告が終わると３グループに分かれて話し合いをしている。３～４人のグループになると話しやすくなり、意見が出しやすい。せっかく出席していただいているので、自分の意見が学校運営に反映されるのを感じていただきたい。